

## 2019/2020 スピードスケート国際競技会派遣選手選考基準

ワールドカップにおける実施種目や日本の出場枠に関連したルールなど、詳細は国際スケート連盟 (ISU) によって後日通知される予定である (8 月頃)。これを受けて、本選考基準のうち ISU から通知されるルールに適合しない部分に変更される場合がある。

### 【決定の方法】

国際競技会への派遣選手選考は、以下の基準に基づき、強化委員会が推薦し、選考委員会又は理事会で承認することによって決定する。

### 【派遣選手団の編成方針】

1. 日本代表として十分な活躍が期待される選手の中から選考する。
2. 日本代表として十分な活躍が期待できる種目を優先的に選考する。
3. 行動規範を遵守し、活力ある日本スケート連盟を代表するに相応しい選手・役員をもって編成する。

### 【出場に関する制限】

1. 国際スケート連盟 (ISU) によって以下の通り制限される。
  - ・ 各国際競技会への日本の各種目出場枠数
  - ・ 世界距離別スピードスケート選手権大会特別参加資格ランキングリスト (SQRL for WSD)
  - ・ 世界オールラウンドスピードスケート選手権大会特別参加資格ランキングリスト (SQRL for WAR)
  - ・ 世界スプリントスピードスケート選手権大会特別参加資格ランキングリスト (SQRL for WSP)
  - ・ 各国際競技会の参加標準記録 (ワールドカップは別紙参照)
2. 日本スケート連盟による派遣標準記録 (後述) を設定し、派遣 B 標準記録以内の選手を派遣対象とする。

### 【特記事項】

- ・ 各国際競技会において、日本の種目出場枠に空きが生じている場合、当該派遣選手団の監督の責任の下、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を追加でエントリーすることができる。この場合、当該種目の派遣標準記録以内であるかどうかは問わない。
- ・ 各種目 (マススタート、チームパシュートを除く) の補欠は、当該年度の JOC ナショナルコーチ、スピードスケート強化部長及びスピードスケート強化副部長 (強化担当副部長である 1 名) が、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えながら、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考する。
- ・ ISU の参加要項等に変更があった場合は、それに準じて選考方法等を再検討し変更する場合がある。
- ・ 本選考基準において、協議による選考を定めている場合において意見の一致に至らなかった場合は、多数決の方法をもって決する。

1. ワールドカップ第1戦ミンスク大会(11/15~17、500m・1000m・1500m・女子3000m・男子5000m・Ms・TS)・第2戦トマショフマゾウィエツキ大会(11/22~24、500m・1500m・女子3000m・男子5000m・Ms・TP・TS)・第3戦ヌルスルタン大会(12/6~8、500m・1000m・1500m・女子5000m・男子10000m・TS)・第4戦長野大会(12/13~15、500m・1000m・女子3000m・男子5000m・Ms・TP・TS)

※ Ms(マススタート)、TP(チームパシュート)、TS(チームスプリント)

#### 【選考方針】

世界距離別スピードスケート選手権大会、世界スプリントスピードスケート選手権大会、世界オールラウンドスピードスケート選手権大会及び次年度以降のワールドカップにおける日本の出場枠拡大を目指し、日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

#### 【派遣可能人数】

制限なし

#### 【枠数】

男子：500m(5)、1000m(5)、1500m(5)、5000m(4)、10000m(4)、Ms(2)、TP、TS

女子：500m(5)、1000m(5)、1500m(5)、3000m(5)、5000m(5)、Ms(2)、TP、TS

※ ただし、第4戦長野大会は自国開催のためフルエントリー可能となり、男女500m、男女1000m、女子3000m及び男子5000mはそれぞれ5名、Msは2名、TP及びTSは1チームとなる。

#### 【選考基準】

対象競技会：第26回全日本スピードスケート距離別選手権大会

- (1) 男女500m、男女1000m、男女1500m及び女子3000mの出場枠のうちそれぞれ4名、男子5000mの出場枠のうち3名の派遣選手は、対象競技会における当該種目の順位に従い、最上位者から順に選考する。残りの派遣選手は、当該年度のJOCナショナルコーチ、スピードスケート強化部長及びスピードスケート強化副部長(強化担当副部長である1名)の協議により、対象競技会にエントリーしている選手の中から、対象競技会の順位や前年度の競技成績を考慮し、選考方針を踏まえた総合的な検討によって枠数に至るまで選考する。
- (2) 女子5000m及び男子10000mの出場枠のうち、女子3名、男子2名の派遣選手は、女子3000mまたは男子5000mに選考された最上位者から順に選考する(ここで選考された選手は、女子5000m及び男子10000mの派遣標準記録の達成可否を問わず当該種目に選考する)。続く女子1名、男子1名の派遣選手は、すでに選考された者を除く選手の中で、女子5000m及び男子10000mにおける最上位者から順に選考する。残りの派遣選手は、当該年度のJOCナショナルコーチ、スピードスケート強化部長及びスピードスケート強化副部長(強化担当副部長である1名)の協議により、対象競技会にエントリーしている選手の中から、対象競技会の順位や前年度の競技成績を考慮し、選考方針を踏まえた総合的な検討によって枠数に至るまで選考する。
- (3) 男女チームパシュートの正選手各3名と補欠選手各1名は、対象競技会にエントリーしている選手の中から、当該年度のJOCナショナルコーチ、スピードスケート強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、本連盟主催の強化合宿等におけるパシュート練習での力量についての総合的な検討を加えながら、選考する。また、必要に応じて、当該派遣選手団の中から出場可能な選手1名を補欠に加えることができる(この場合の補欠の優先順位は2番目

とする)。ただし、これらの選考は、強化委員会の出席者（選考の対象とされる選手と同所属や担当コーチなどといった関係者を除く）の3分の2以上の多数をもって変更することができる。

- (4) 男女マスタートの正選手各2名（枠順位1及び2番目）と補欠選手各1名は、対象競技会にエントリーしている選手の中から、当該年度のJOC ナショナルコーチ、スピードスケート強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えながら、選考する。また、これらの選考は、強化委員会の出席者（選考の対象とされる選手と同所属や担当コーチなどといった関係者を除く）の3分の2以上の多数をもって変更することができる。
- (5) 男女チームスプリントは、当該年度のJOC ナショナルコーチ、スピードスケート強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考し、エントリーする場合がある。
- (6) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化委員会の協議によって選考する。

#### 【特記事項】

- ・ ワールドカップ第1戦における各種目のエントリー順は、選考基準の記載順序に従った選考順によるものとする。
- ・ ワールドカップ第3戦及び第4戦の男女500m、男女1000m、男女1500m、女子3000m、男子5000mについては、派遣B標準記録のみ達成して上記(1)により選考された選手が、ワールドカップ第1戦又は第2戦の当該種目においてワールドカップポイントを獲得できなかった場合、当該年度のJOC ナショナルコーチ、スピードスケート強化部長及びスピードスケート強化副部長（強化担当副部長である1名）の協議による必要性の判断に応じて、上記(1)により選考された選手と、上記(1)における次点者（当該派遣選手団外からも可）とで入れ替えを行う場合がある。
- ・ 各ワールドカップの男女チームパシュートにおける正選手と補欠選手との入れ替えは、遠征中におけるワールドカップの成績や練習状況などを総合的に検討し、当該年度のJOC ナショナルコーチ、スピードスケート強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、必要に応じて行うものとする。
- ・ 第4戦において、自国開催による枠の拡大によって選考された選手は、派遣標準記録の達成可否を問わず当該種目に選考する。
- ・ 男女チームパシュート及びチームスプリントのメンバーとなるためには、当該競技会における個人種目の正選手または補欠選手である必要がある。
- ・ 本競技会（第1～4戦まで）は、当該年度の世界距離別スピードスケート選手権大会、世界スプリントスピードスケート選手権大会及び世界オールラウンドスピードスケート選手権大会の出場枠獲得対象競技会となる。

上記以降の国際競技会における選考基準は、ISU による国際大会の詳細に関する通知（8月頃）がなされた後に決定する。

【ISU ワールドカップ参加標準記録】

女子			男子		
	カルガリー ソルトレークシティ ウルムチ	その他		カルガリー ソルトレークシティ ウルムチ	その他
500m	39,60	40,10	500m	35,70	36,10
1000m	1.19,00	1.20,00	1000m	1.11,20	1.12,10
1500m	2.00,50	2.02,50	1500m	1.49,00	1.50,50
3000m	4.19,00	4.23,00	5000m	6.40,00	6.44,00
5000m	7.23,00 又は 4.11,00(3000m)	7.30,00 又は 4.15,00(3000m)	10000m	13.30,00 又は 6.28,00(5000m)	13.40,00 又は 6.32,00(5000m)

※ 対象競技会は、2018年7月1日以降に開催されたすべてのISUメンバーに参加資格が与えられている国際競技会（ISUルール第107条4項に従う）、全日本スピードスケート距離別選手権大会、全日本スピードスケート選手権大会、全日本スプリントスピードスケート選手権大会、全日本ジュニアスピードスケート選手権大会とする。

【派遣標準記録】

女子			男子		
	A 標準	B 標準		A 標準	B 標準
500m	38,37	39,93	500m	35,04	35,98
1000m	1.16,33	1.19,07	1000m	1.09,54	1.11,65
1500m	1.57,74	2.02,42	1500m	1.46,67	1.50,24
3000m	4.06,85	4.20,18	5000m	6.19,63	6.36,57
5000m	7.10,92	7.26,58 又は 4.20,18(3000m)	10000m	13.13,81	13.36,83 又は 6.36,57(5000m)

※ 対象競技会は、2019年7月1日以降に開催された日本スケート連盟主催大会とする。

※ 男女500m、男女1000m、男女1500m、女子3000m、男子5000mについては、2017年度及び2018年度WC（カルガリー・ソルトレークシティ、最終戦以外）の各種目8番目のタイムの平均値をA標準、各種目35番目のタイムの平均値をB標準とした。また、女子5000m、男子10000mについては、2016年度WCヘレンベーン大会、2017年度WCスタヴァンゲル大会及び2018年度トマシヨフマゾウィエツキ大会の各種目8番目のタイムをA標準、各種目26番目のタイムまたは女子3000m、男子5000m各種目B標準の記録を、B標準とした。

※ Msの派遣標準記録は1500m～10000mまでのいずれか1つを対象とする。